

- 今後の国内の住宅分野における木材需要は大幅に減少することが予測されていることから、新たな需要先の開拓に向け、海外市場への輸出を進める必要があるため、以下の取組を実施した。
- 既存の取引がある韓国では、さらなる販売拡大のための展示会や技術者研修の取組を実施
- 取引の少ない台湾に関しては、新たな取引先獲得のため展示会や企業招へいの取組を実施
- 取引のほとんどない香港に関しては、需要を調べるため展示会の開催や、木材関連企業を訪問し市場調査を実施
- 輸出に不慣れな企業のサポートを実施するため輸出相談員（韓国、台湾）を設置

□ 事業内容

1 みやざき材海外フロンティア事業

- ・宮崎県産材の需要拡大を図るため、海外における県産材の販路拡大のための展示会への出展や、国内への企業招へい、「材工一体」を推進するための技術者研修等を実施

【事業費】20,417千円（うち譲与税7,000千円）

（譲与税は、展示会出展と輸出相談員に係る部分に充当）

【実績】・セミナー開催：1回（台湾）

- ・技術者研修の実施：1回（韓国）
- ・展示会出展：3回（韓国、台湾、香港）
- ・県産材提供：2箇所（韓国、台湾）
- ・新市場調査：1カ所（香港）
- ・輸出相談員の設置：2名（韓国、台湾）

□ 取組の背景

- ・企業が単体で展示会へ出展するには経済的負担が大きい。
- ・海外との取引がない企業には、輸出のハードルが高い。



（COLEA BUILD（韓国）出展）

□ 工夫・留意した点

- ・人脈の広い輸出相談員の採用
- ・継続的な展示会出展による顧客獲得
- ・既存の商流に影響がでないような顧客探し
- ・同時に商談ができるよう、複数の現地通訳の確保

□ 取組の効果

- ・事業を機に、複数社が取引や商談を開始
- ・県内企業が独自に台湾企業を招へい

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：200,856千円	②私有林人工林面積（※1）：230,240ha
③人口（※2）：1,069,576人	④林業就業者数（※2）：3,587人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より